

積算資料

2024
6

地方創生に貢献する地域脱炭素の推進

NEXCO西日本リニューアル工事の取組み

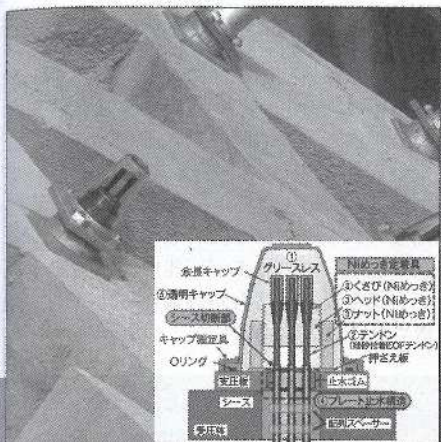
文明とインフラ・ストラクチャー⑦⑧ 竹村 公太郎

建築あれこれ探偵団がゆく⑫⑬ 藤森 照信



九州自動車道 宝満川橋

「EHDアンカー HP工法」



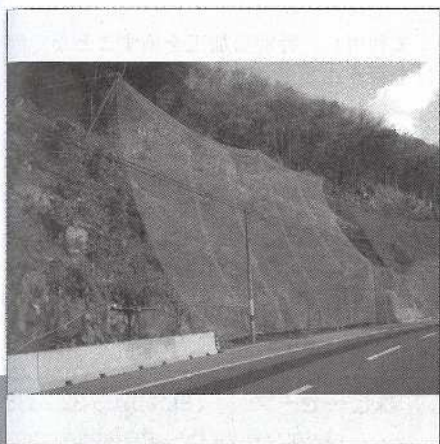
EHDアンカーHP工法 (Epoxy High Durable Anchor HyPer) は、耐久性100年の高付着ECFテンドンを使用し、頭部・山長・アンカー体の全体構成を堅固なより高い品質特性にしたことから、安全性・耐久性・ライフサイクル経済性に優れる。アンカー頭部は、透明キャップ・グリースレス定着具・プレート止水構造を用いたことにより、メンテナンス性が向上。さらに定着具は、標準でアンカー力の確実な増減調整機能を具備している。

NETIS登録番号：HK-230017-A

KJS協会 TEL：0428-32-2811

<https://isabou.net/sponsor/kjs/index.asp>

高エネルギー吸収型落石防護網「強靱防護網」



同製品は、高強度な金網およびワイヤロープ、緩衝装置等の組み合わせにより、斜面上部で発生した落石を補足した際、落石エネルギーを効率よく吸収しながら、斜面下端まで安全に誘導することを目的とする、高エネルギー吸収型ポケット式落石防護網である。

緩衝装置は工場では組み立て後に納品するため、設置工程の削減ができ、2つの構造タイプと、対応可能落石エネルギーごとに8型式を揃えており、状況に応じて対応可能である。

ネットタイプ (7型式)：KB-NH3.2-1型、2型、KB-NH4.0-1型、2型
KB-NH5.0-1型、KB-NF5.0-1型、2型

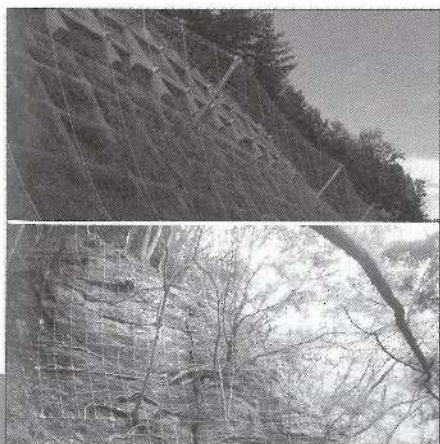
ロープタイプ (1型式)：KB-RS5.0

NETIS登録番号：HR-230013-A

斜面の安全・安心研究会 TEL：025-278-6900

<https://s-spm.jp/>

「オープンロックネット (ORN工法)」 「フリーネット (FN工法)」



オープンロックネット (ORN工法、写真上) は、ワイヤロープと金網が一体となって落石を受け止め、ネット部全体で落石エネルギーを吸収。より安全で高い強度、施工性を確保した新しい落石防護網工である。支柱に補強材を設け、落石が衝突した場合でも損傷を軽減し、本来の機能を発揮し続けることができる。

フリーネット (FN工法、写真下) は、転石・落石の危険性がある浮石に対して強度の高いワイヤロープや金網を密着させ抑え込み、発生源で抑止する落石予防工である。落石防止だけでなく、法面の自然保護や緑化促進も期待できる。

NETIS登録番号：SK-210004-A (ORN工法)
SK-190004-A (FN工法)

落石工法研究会 TEL：088-821-9511

<https://www.rakuseki-net.com/>